

地域住宅計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した地域住宅計画	
①計画の名称	習志野市地域住宅計画（二期）
②都道府県名	千葉県
③計画作成主体	習志野市
④計画期間	平成24年度～26年度
⑤計画の目標	『文教住宅都市憲章』として、本市に相応しい住環境の向上に向け、浴室無し・新耐震基準に満たない市営住宅の解消を目指し、質の高い公営住宅を提供するとともに、だれもが安心して住むことができるよう防災機能の充実を図る。
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	習志野市単独で評価を実施（平成27年4月）
⑦事後評価の結果	<p>指標①：「既存市営住宅等の居住環境向上改善実施割合」 定義：浴室付き市営住宅等の戸数／市営住宅等全戸数 評価方法：既存の市営住宅において浴室を新規に設置した実績数値 結果：従前値：82%（23年度）⇒目標値：92%（26年度）⇒実績値：92% 結果の分析：公営住宅ストック総合改善事業を実施し、公営住宅については1棟24戸に、改良住宅ストック総合改善事業を実施し、改良住宅については3棟72戸に浴室を新規に設置した。</p> <p>指標②：「既存市営住宅等の耐震性確保割合」 定義：耐震性が確保された市営住宅等の棟数／全市営住宅等の棟数 評価方法：新耐震基準に基づいた耐震性が確保された住棟の実績数値 結果：従前値：88%（23年度）⇒目標値：100%（26年度）⇒実績値：96% 結果の分析：耐震診断の結果、必要な耐震性が確保されていない市営住宅の住棟について耐震補強工事を実施したが、一部の住棟で実施を見送った為、目標値を達成することができなかった。</p> <p>指標③：「既存市営住宅等の給水設備改修実施割合」 定義：給水設備改修工事実施棟数（全面改修実施住棟含む）／築20年以上経過した棟数 評価方法：実施住棟の実績数値 結果：従前値：10%（23年度）⇒目標値：55%（26年度）⇒実績値：39% 結果の分析：築20年以上に該当する20棟508戸のうち、公営住宅ストック総合改善事業（4棟128戸）及び改良住宅ストック総合改善事業（3棟72戸）の合計7棟200戸において給水管改修工事を実施したが、一部の住棟で実施を見送った為、目標値を達成することができなかった。</p>
⑧結果の公表方法	習志野市のホームページにて公表を行うとともに、窓口にて閲覧可とする。
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅は、本市における住宅セーフティネットの中核を担うものであることから、次期地域住宅計画においても平成23年度に策定した『習志野市営住宅等長寿命化計画』に基づき、引き続き浴室のない市営住宅の大規模改修事業に取り組んでいくことや、耐震性が確保されていない住棟への耐震改修等に着手し、良好な居住環境と安全性の確保に努めていく。 ・平成26年度に策定した、市独自の『住生活基本計画』に基づき、住宅施策の更なる充実を図る。 ・平成27年度に開始した『親元近居住宅取得促進事業』で市内の定住を促すことにより、子育て世帯の定住による適正な人口構造の確保を図っていく。 ・『マンション実態調査』を実施することで、新たな施策へ取り組む基礎資料とし、マンション管理組合の課題解決支援による市民の良好な居住環境の確保に努める。
⑩その他	

※この事後評価は別添の地域住宅計画について行ったものである。